

# 敦賀市議会

# 議会だより

12月  
定例会

## CONTENTS

議長交代・議会報告会	2
審議結果一覧・賛否が分かれた議案一覧	3
常任委員会審査報告	4～6
特別委員会中間報告	6～8
一般質問	9～13
議会日誌、3月定例会の日程	14

議会報告会を  
開催しました！

→関連記事はP 2



参加いただいた皆さん  
ありがとうございました。

音訳（CDに録音）された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会（電話 0770-22-3133）までご連絡ください。

議長に馬淵氏を選任

定例会最終日の12月20日に福合議長より辞職願が提出され、本会議において許可されました。

これに伴い議長選挙を行った結果、第59代議長に馬淵議員が選出されました。

第59代議長

馬淵 清和



議長交代に伴う委員会構成の変更は下記のQRコードから確認できます。



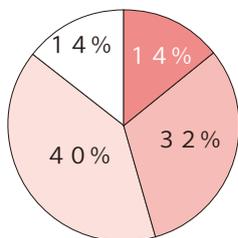
令和4年度

議会報告会を開催!

去る令和4年11月11日(金)プラザ萬象小ホールにおいて議会報告会を開催しました。ここ2年はコロナ禍によりオンライン開催としていましたが、今年度は3年ぶりに参集型にて開催し、38名の方に参加いただきました。今後も引き続き、市民の皆様にとって身近で分かりやすい議会をめざして取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

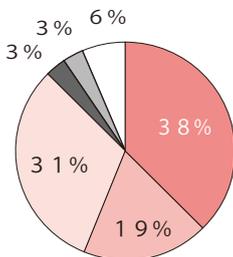
新たな取組み「出前報告会」

今年度、議会の新たな取組みとして、市内3団体を対象に「出前報告会」を開催し、それぞれ参加された皆様から多くのご意見をいただくことができました。(開催の様子は下段をご覧ください。)



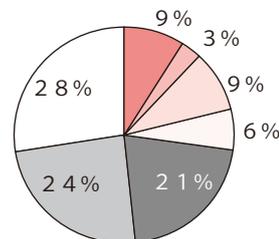
- 敦賀市議会の役割、しくみについて
- 今年の定例会の主な審議内容について
- 意見交換の部(市議会、市政へのご意見)
- 無回答

◎報告会の内容で、良かったものは何ですか？



- 良い
- どちらかといえば良い
- ふつう
- どちらかといえば良くない
- 良くない
- 無回答

◎今回の議会報告会はいかがでしたか？



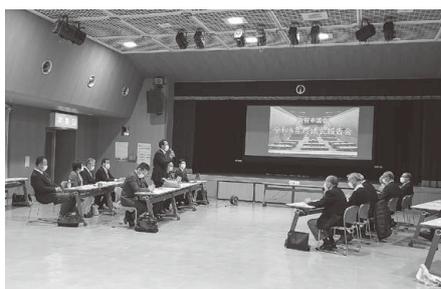
- 20歳未満
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70歳以上

アンケート結果(一部抜粋)

【出前報告会各会場の様子】



11月18日(金)  
市PTA連合会(中郷公民館)



11月15日(火)  
市区長連合会(西公民館)



11月15日(火)  
子育て世代(ちえなみき)

# 審議結果一覧

令和4年第4回定例会では、令和4年度各会計補正予算案7件、条例案9件、一般議案5件が審議されました。

議案番号	件名	付託委員会	結果
第76号議案	令和4年度敦賀市一般会計補正予算（第9号）	予算決算	可決
第77号議案	令和4年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部）特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
第78号議案	令和4年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
第79号議案	令和4年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
第80号議案	令和4年度敦賀市水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
第81号議案	令和4年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
第82号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正の件	総務民生	可決
第83号議案	職員の給与に関する条例等の一部改正の件	総務民生	可決
第84号議案	職員の定年等に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
第85号議案	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件	総務民生	可決
第86号議案	敦賀市職員の降給に関する条例制定の件	総務民生	可決
第87号議案	職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件	総務民生	可決
第88号議案	敦賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
第89号議案	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
第90号議案	敦賀市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
第91号議案	指定管理者の指定の件	文教厚生	可決
第92号議案	指定管理者の指定の件	産経建設	可決
第93号議案	指定管理者の指定の件	文教厚生	可決
第94号議案	指定管理者の指定の件	文教厚生	可決
第95号議案	公立大学法人敦賀市立看護大学が徴収する料金の上限の変更の認可の件	総務民生	可決
第96号議案	令和4年度敦賀市一般会計補正予算（第10号）	予算決算	可決

# 賛否が分かれた議案一覧

賛成・反対の双方があった議案等については以下のとおりです。（賛成：○、反対：×、欠席：欠）

議案番号	会派名 議員名	市政会											同志会			日本共産党 敦賀市会議 員団		市民クラブ		公明党		無	無	無
		繩手博和	川端耕一	林恵子	浅野好一	中野史生	石川栄一	北村伸治	田中和義	福谷正人	馬淵清和	有馬茂人	和泉明	豊田耕一	立石武志	林正男	松宮学	山本貴美子	山本武志	今川博	中道恭子	大塚佳弘	今大地晴美	三國真弓
第76号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
第79号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
第82号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
第85号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
第86号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○
第90号議案		○	○	○	欠	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	欠	○

※議長は採決に加わっていません。 無：無所属

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

予算決算  
常任委員会

〔第76号議案〕  
令和4年度敦賀市一般会計補正予算（第9号）

質疑

◎ふるさと納税事業費

問 寄附金額に対する事業費の割合が当初予算書と比べて低下しているが、その理由を伺う。

答 中間事業者と契約内容の見直しについて協議を行い、6月から契約単価等の見直しを行ったため割合が下がっている。

◎消費喚起推進事業費

問 この事業により、消費が拡大されるのか伺う。

答 これまでの利用実績では、ガソリンスタンドなど生活に直結する事業所だけではなく、飲食店、酒店、菓子店などでも利用されており、ついで買い等による消費拡大に寄与していると認識している。実際の数値はわからないが、商工会議所などを通して肌感覚などによる実態を把握していきたいと考えている。

◎金ヶ崎周辺等デザイン計画策定事業費

問 調査を実施するという事は、JR貨物の用地を取得することが大前提と考えているが、敦賀市がこれ取得するのか県にお願いするのかについてはいつまでに分かるのか伺う。

答 JR貨物との用地協議をいつまでという時期については、少なくとも民間事業者による金ヶ崎再開発の工事着手までには、買うか借りるか、あるいは民間事業者が直接借りるかなどの方式も含めて、具体的な話ができれば協力を進めている。

◎小学校校舎等改修事業費

問 体育館の照明をLED照明に取り替えることにより、どの程度の節電効果が見込まれるのか伺う。

答 一般的に消費電力は従来の照明の4分の1程度とされている。

自由討議

◎林業施設災害復旧事業費

意見 国が災害として認定したことで国庫補助の対象となることは良かった。災害復旧は苦勞も多いが、引き続きよろしくお願いしたい。

◎新幹線敦賀開業まちづくり推進会議負担金

意見 「つるが、発見！」というキャッチコピーが出来た時点で、新幹線が開業間近であることが分かるようになってきた。新しいロゴマークが出来次第、敦賀市民にそれを様々な手法で広めていただきたいので、県内のどこにも勝るようなロゴマークになることを期待している。

討論

反対

オーベルジュは福井県が誘致するものなのに、なぜ、不動産鑑定や土壌調査を敦賀市が全額負担しなければならぬのか疑問であることや、市長、議長など特別職の期末手当の値上げには賛成できないため反対。

採決

賛成多数  
原案どおり認めるべきものと決定

〔第96号議案〕  
令和4年度敦賀市一般会計補正予算（第10号）

質疑

◎出産・子育て応援事業費

問 伴走型相談支援について、敦賀市ではどのような仕組みで行われるのか。

答 妊娠初期については、これまでから妊娠届を受理する際にアンケート等を実施し、全員に面談を実施している。妊娠中後期については、新たに妊娠6か月頃にアンケート及び面談希望の御案内をし、ママパセミナーやすぐすく健康相談に参加していただいた際に相談支援を実施したい。また、出産後の相談支援については、現在も新生児訪問等の際に面談による相談等に対応しており、引き続き行っていきたい。

問 手当の支給方法については、どのような方法を考えているのか。

答 クーポン等については、準備等に時間を要するため、今年度は現金により支給したい。来年度以降については、県内統一的なクーポン等を県が検討しているとお聞きしており、そのことも含めて検討を進めていきたい。

問 支給対象者について、令和4年度の4月1日にさかのぼって支給するか。

答 令和4年4月1日以降の出産までさかのぼって支給する。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 総務民生 常任委員会

〔第84号議案〕

職員の定年等に関する条例の一部改正の件

### 質疑

問 定年の引上げに伴い増額となる人件費に対して、国からの交付税措置はあるのか。

答 定年延長の引上げに伴う交付税措置はない。60歳後に配置された部署の業務内容により、交付税対象となることもある。

### 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第86号議案〕

敦賀市職員の降給に関する条例制定の件

### 質疑

問 この条例に定める降給というのは、定年の引上げに関するもの以外の事由についても対象となるのか。

答 今回の条例は、定年の引上げに関するもの以外でも降格及び降号がで

る内容となっているため、例えば勤務態度等による降格や降号も可能である。

問 定年の引上げ以外で降格または降号となる場合、それに伴い給料も下がることになると思うが、その場合はどのような基準に基づき号給を下げるのか。

答 職員の給与に関する規則において、降格の場合は、一つ下の級の同額の号給もしくは直近下位の号給に下げると定められており、これに従う形となる。また、降号については今後、国や他の自治体の事例に合わせた形で、規則にて設定する予定である。

### 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第88号議案〕

敦賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正の件

### 質疑

問 育児や介護を行う職員の早出遅出勤務が可能になるとのことだが、出勤を早めたり退勤を遅らせたりできる時間の範囲はどうなるのか。

答 具体的な時間の範囲は、規則以下で定める形になるが、現時点では、朝は午前7時以降、夜は午後10時までの範囲内で7時間45分勤務していただくということを考えている。

問 この早出遅出の制度について、県内他市町での導入状況はどうか。

答 県内では本市のみ導入していなかったため、今回改正の条例案を提出させていただいた。

### 討論

賛成 職員にとつて、お子さんの送迎等で融通がきくようになるため、この条例改正は喜ばしいことだと思う。ただ、県内で一番遅い条例改正ということとは残念である。今後は、敦賀市が先駆者となり職員のための勤務体制づくりを進めていっていただきたい。

### 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 産経建設 常任委員会

〔第92号議案〕

指定管理者の指定の件  
※きらめきみなと館

### 質疑

問 指定管理者候補者選定委員会で審査する際、申請団体の名称は公開されているのか。

答 審査の過程においては、財務状況や事業計画の内容等、全てを勘案して評価を行うため、申請団体の名称も選定委員会の委員には公開されている。

### 討論

賛成 公平性の観点から、審査の段階では申請団体名を公開しないほうが良いのではないかとという意見もあったが、指定管理者の選定に当たっては、候補者の過去の経緯や財務状況、業務内容等もしっかりと確認する必要がある。今回は、その点がオープンにされた上で審査が行われているため、指定管理者の指定には賛成である。

### 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

※ 4 段目からは特別委員会中間報告についての記事です。

文教厚生  
常任委員会

〔第90号議案〕  
敦賀市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正の件

討 論

〔反対〕 一般職員の給与の値上げであれば賛成だが、特別職の給与の値上げは反対である。特別職の値上げはせずに、少しでも市民の福祉のために使って欲しい。

採 決  
賛成多数  
原案どおり認めるべきものと決定

〔第91号議案〕  
指定管理者の指定の件  
※敦賀市子ども発達支援センター

質 疑

〔問〕 1年間の指定管理料はいくらになるのか。

〔答〕 公募上の上限金額3906万7000円に対し、3921万

〔問〕 公募上の上限金額よりも応募の金額のほうが高い理由について伺う。

〔答〕 燃料の高騰などの影響により応募のあった金額が公募上の上限金額よりも高くなった。

〔問〕 指定管理者となる団体から指定期間中に行う新たな取組みについてなにか提案はあったのか。

〔答〕 自主事業の提案計画で、障害者、障害等に関する研修及び啓発を行うこと。また、県内専門家やセンター職員による保護者相談会を行うことの提案があった。

採 決  
全会一致  
原案どおり認めるべきものと決定

〔第93号議案〕  
指定管理者の指定の件  
※敦賀市民文化センター

質 疑

〔問〕 指定管理者となる団体から指定期間中に行う新たな取組みについてなにか提案はあったのか。

〔答〕 施設の管理面で4点の提案があり、1点目は、現在1階ロビーでしか使用できないWi-Fiを3階の小ホールでも使用できるようにWi-

Fi環境を整備すること。2点目に、コインロッカーの設置をすること。3点目に、小ホールでプロジェクトを貸出できるように整備すること。4点目に、貸館として利用された方の出したゴミを有料で処理するサービスを提供することの提案があった。

討 論

〔賛成〕 市民から良くなったという声を聞くことから、今まで以上に取り組んでいただけることを期待する。

採 決  
全会一致  
原案どおり認めるべきものと決定

〔第94号議案〕  
指定管理者の指定の件  
※敦賀市武道館

質 疑

〔問〕 前回の指定期間と比較すると指定管理料が増額になっているが、その理由について伺う。

〔答〕 最低賃金の上昇を加味した人件費等となっているため増額となった。

採 決  
全会一致  
原案どおり認めるべきものと決定

原子力対策  
特別委員会

もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉について

質 疑

〔問〕 約1000名の雇用維持への明確な道筋を示すことを求めたとあるが、今後のスケジュール等がわかれば伺う。

〔答〕 文部科学省から今年度末までに次の詳細設計に入ることを目指していると聞いている。

嶺南Eコースト計画推進会議について

〔問〕 原子力リサイクルビジネスの進捗状況等に関するスケジュールを伺う。

〔答〕 10月に開催された嶺南Eコースト計画推進会議において、クリアランス物の検認前溶融施設の必要な面積などの紹介があり、今後事業実施までに想定されるスケジュールを県が検討していくと聞いている。

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

● 新幹線対策  
特別委員会 ●

北陸新幹線の整備状況について

**報告** 各工事等の進捗について、本線のレール敷設が終わり、引き続き車両基地のレール敷設及び本線のレール調整を進めること、敦賀駅の旅客上家の屋根工事が完了したことの説明があった。また、遅延リスクについては、ウクライナ事案等で遅れていた資材等も納入時期が確定しており、新型コロナウイルスに関しても、作業員の感染は出ているが、作業員の配置の調整等で全体工程に影響がないことを確認していることなどの報告があった。

駅前広場整備について

**報告** 駅前広場整備について、順次、説明があり、駅前広場工事については、部分的に変更はあるものの工程表のとおり進捗しており、今後、盛土工事、キャノピー工事など各種構造物工事等を進める予定であること、広場の施工可能となった部分から順次着工できるよう前倒しで各種工事を発注する予定である。少しでも早く駅前広場工事に着手ができるよう、JR、鉄道・運輸機構、福井県と協議を進めながら、令和6年春の新幹線開業との同時開業に向け事業を進めていることなどの報告があった。

並行在来線について

**報告** 福井県並行在来線活性化地域活動奨励金交付事業について、特定非営利活動法人THAPによる活動に対し奨励金を交付したことの報告があった。

● 廃棄物対策  
特別委員会 ●

本市と美浜町との一般廃棄物の共同処理について

**説明** ごみ量について、清掃センターやエコクル美方に搬入された過去3年分と共同処理が開始された令和4年度上半期分における全体のごみ量に対する敦賀市の割合は87%前後、美浜町の割合は12%前後で、おおむね人口に比例している。

新清掃センター整備事業について

**説明** 現在、事業者と設計協議を進めており、既存の清掃センターと新清掃センターを比較すると、施設の焼却能力は、ほぼ同じの1日当たり96トンの規模としている。また、受入れ日時は、現在平日が8時間、土日祝日が3・5時間受入れているが、新清掃センターでは、月曜日から土曜日及び第4日曜日の各日、8時間の受入れに変更し、年間受入れ総時間は、現在の清掃センターの2313・5時間に対し、新清掃センターでは2544時間となり、約1割の受入れ時間増を予定している。併せて、計量機を現在の1基から3基に増設する。

質疑

**問** 敦賀駅の外壁工事が終わらないとキャノピーの工事着手ができないと考えるが、その時期はいつごろになるのか。

**答** 今のところ工事は順調に進んでおり、大雪等により作業が出来ないということがなければ、2月ごろに大型クレーンの解体作業にかかり、クレーンの解体が終わると、駅前広場の盛土工事に着手できる。

質疑

**問** 盛土工事に必要な土は、新幹線工事で発生した土の使用を優先し、不足が発生した場合は購入すると聞いているが、購入する必要がある土の量は試算できているのか。

**答** 現在のところ盛土工事の土については、購入せずに全て新幹線工事で発生した土を使用することで調整がついている。

質疑

**問** 奨励金交付事業の対象となるための制限はあるのか。

**答** 並行在来線の利用促進につながる活動であれば対象となるが、同一団体同一活動につき1回限りの交付という制限はある。なお、今回は1団体のみの応募であったが、募集期間を過ぎてから交付を希望した団体もあり、今後奨励金事業を実施していくことが可能と考えている。



現在のところ盛土工事の土については、購入せずに全て新幹線工事で発生した土を使用することで調整がついている。

## 質疑

**問** 先日、都市計画審議会でこの計画の説明があり、了解されたが、どうなっているのか。

**答** 現在、都市計画審議会の結果を踏まえて、その内容を県に報告する段階である。

**問** 新清掃センターでは発電とあるが、発電は何に使うのか。

**答** 発電された電気について、まずは新清掃センターで利用することを考えている。余剰電力は、売電や、ほかの施設で使用するを現在検討しており、最終的に本市の脱炭素の方向性の中で、どのように利用していくとよいかを検討している段階である。

### 新一般廃棄物最終処分場整備事業について

**説明** 現在、土木工事を進めており、進捗は順調である。また、土木工事の変更設計業務を鋭意進めている。設計・施工一括で発注している浸出水処理施設工事は、設計がほぼ終了し、最終的な精査を行っている。今後ごみを埋め立てる貯留構造物をつくるため、東西

に約100メートル、南北に約70メートル、深さ10メートルの掘削を行い、この掘削作業は、令和5年5月ごろに終了し、その後、埋立処分棟の建設工事に着手する予定である。



整備中の新一般廃棄物最終処分場  
航空写真▶

### 議会運営委員会 議会BCPについて視察しました

今年度末までの策定を目的とし議会運営委員会にて検討を進めている「議会業務継続計画（以下、BCP）」に関し、既に策定、運用している大阪府堺市議会並びに岡山県倉敷市議会の先進事例等を調査しました。

両議会ともに、災害等発生時に議会の初動対応や議会運営が適切に行えるよう策定されたBCPであり、とりわけ堺市議会では、情報報告書等によって地域情報を市の災害対策本部等の執行機関に伝達するなど市が災害対応に全力で取り組めるよう協力及び支援を行うことに重点を置いていること、倉敷市議会では、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害での実経験をもとに、市への情報提供及び行政対応への地元意見の反映、市長専決による補正予算（案）の対応など議会運営に関する事項を網羅していることを確認しました。

議会運営委員会では、調査した内容を踏まえ、計画検討を進めてまいります。



11月15日 岡山県倉敷市議会



11月14日 大阪府堺市議会

## ◎山本 武志

- 1 持続的な地域経営と人づくりについて
  - (1) 現状認識
  - (2) 地域の活力維持・向上に向けた仕組みづくり
  - (3) 行政・地域の人づくり

## ◎林 恵子

- 1 子育て支援事業について
  - (1) 保育園の統廃合と公立幼稚園
  - (2) 医療的ケア児への対応
  - (3) 障がいのある子ども達
  - (4) 地域共生社会推進
  - (5) 無園児への対応
  - (6) 男性の育児休業
  - (7) 婚活
  - (8) 学校でのタブレット使用

## ◎山本 貴美子

- 1 安心して住み続けられるまちづくりについて
  - (1) 立地適正化計画の見直し
  - (2) 免許自主返納の支援
  - (3) コミュニティバスの充実
  - (4) 医療依存度が高い方への支援
- 2 子育て支援について
  - (1) 2歳児までの子育て負担の軽減
  - (2) 放課後児童クラブの時間延長
- 3 旧統一協会の問題について

## ◎松宮 学

- 1 市役所内のATMの設置について
- 2 原子力総合防災訓練について
- 3 安定ヨウ素剤の申請について

## ◎今大地 晴美

- 1 ユニバーサルデザインについて

## ◎立石 武志

- 1 金ヶ崎周辺等開発事業計画について
- 2 買い物袋有料化敦賀市の今について
- 3 学校における児童生徒の体調・持病管理把握について

## ◎豊田 耕一

- 1 若年層の人口流出について
- 2 返還免除の奨学金について

## ◎今川 博

- 1 土砂災害復旧工事の進捗等について

## ◎大塚 佳弘

- 1 敦賀市が目指すべき福祉政策について
  - (1) 地域共生社会推進全国サミットの総括と展望
  - (2) 敦賀市の共生社会の実現を目指す条例制定の提案
  - (3) 令和3年度地域生活支援拠点の進捗と課題
  - (4) 障害者福祉施設「やまびこ園」の改修工事からの展望
  - (5) 妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談と応援ギフトの推進

## ◎中道 恭子

- 1 障害者手帳アプリの導入と障がいのある方の社会参加について
  - (1) 障がいのある方の外出・社会参加支援
  - (2) 障害者手帳アプリ「ミライロID」の導入
- 2 重層的支援体制整備事業について
  - (1) 本市の「地域づくり支援」の取組と課題
  - (2) 本市の「参加支援」の取組と課題
  - (3) 世代・属性を超えて交流できる居場所づくり

## ◎川端 耕一

- 1 マイナンバーカードについて
- 2 コミュニティバスについて

## ◎馬淵 清和

- 1 部活動の地域移行について
- 2 河川の危険箇所の整備について

## ◎縄手 博和

- 1 姉妹都市親善友好少年交歓研修と武田耕雲斎の周辺整備について
- 2 災害発生時の高齢者の避難について

## ◎前川 和治

- 1 地産地消について
- 2 学校給食について
- 3 次世代につなげる夢と希望に満ちた住みたくなるまち敦賀について

## ◎中野 史生

- 1 森林環境税と森林環境譲与税及び森林整備資金について
- 2 コロナ禍による支援の現状と課題について
- 3 とうろう流しと大花火大会の歴史と現状、今後の在り方について

こちらから敦賀市議会  
インターネット中継（録画）が  
視聴できます。





山本武志  
(市民クラブ)

持続的な地域経営と人づくりに  
ついて

問

地域の産業や文化振興、子育て支援、高齢者・障害者支援などあらゆる分野の活動実践の協議を行う場、各分野が連携、協働する場としての推進拠点、いわゆるプラットフォームの仕組みが必要と考えるが市の認識を伺う。

答

協働を前提としたプラットフォームの必要性は十分認識しており今後、先進自治体等の状況を見ながら研究してまいりたい。

問

現在の公民館体制は、9公民館中6公民館が会計年度任用職員のみということになっており、持続性と継承性、さらには市の将来を考えるにおいて、正規職員の配置に戻していくべきと思うが、市の考えを伺う。

答

持続性と継承性を考えると、さらに正規職員を配置できることが望ましいと考えており、正規職員、特に若手職員の配置を増やしていくことができるよう努めてまいりたい。



林 恵子  
(市政会)

子育て支援事業について

問

榎川保育園と統合する近隣施設について、土地選びを含んだ開園までの今後のスケジュールを確認する。

答

今年度中をめどに開設場所や設置運営方式等について庁内での検討、協議を進め、最終的な方針を決定した上で、来年度には対象園の保護者に対して説明する場を設けたい。その後は、必要に応じて用地の買収や設計等に着手し、令和9年度に認定こども園として開設することを目標としている。

問

医療的ケア児の受入れについて、学校では現在どのように準備を進めているのか。

答

公立小中学校の入学を希望される場合、保護者、関係機関、医療的ケア実施校の担当者等と協議を繰り返して、医療的ケア児が安全、安心な医療的ケアを受けられるよう、環境整備や学校看護師の配置等の校内支援体制を整えていきたいと考えている。



山本貴美子  
(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

安心して住み続けられるまちづくりに  
ついて

問

敦賀署で免許証の返納をした後、自主返納支援事業の申し込みのため市役所に行くのは車に乗れないため不便。身近な公民館で免許証返納の出張窓口を設け、その場で自主返納支援事業の申し込みもできるようにすべき。

答

警察と協議をしたい。

子育て支援について

問

放課後児童クラブが夕方6時までで延長保育が無いため、お母さんが仕事を続けられない、時間までに迎えに行けず児童クラブに預けられないなどの家庭もある。安心して子育てしながら働き続けられるよう時間延長すべき。

答

保護者のニーズを踏まえ、適正な保護者負担金や指導員の体制確保、児童クラブでの滞在時間が長くなることによる児童への負担など、総合的な検討が必要。



松宮 学  
(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

市役所内のATMの設置につ  
いて

問

庁舎内にATMがないが、市民の要望もあり検討できないか。

答

各金融機関と交渉したが、利用者が少ないことや維持費が高く設置は難しいとのこと。また、市独自の運営も検討したが、移設費や維持費等が多額のため導入を見送る。

安定ヨウ素剤の申請について

問

安定ヨウ素剤配布の申請書はどこで手に入るのか尋ねる。

答

市のホームページか危機管理対策課の窓口で渡している。

問

各小学校や保育園などの保護者に配る、公共施設に配置、スマホからの簡単な申請ができないか尋ねる。

答

学校などへの配布、公共施設への配置、スマホからの申請が行えるよう今後協議、検討していきたい。



今大地晴美  
(無所属)

### ユニバーサルデザインについて

**問** ちえなみきのエレベーターや通路は車椅子を利用する方たちの移動が可能なのかも含めて、建物自体がユニバーサルデザインの観点に立って設計や建設がされたのかを聞く。

**答** 駅西地区土地活用事業の募集要項及び建築計画の項目において、ユニバーサルデザインの理念に基づいた計画とすることが明記されている。平成30年8月に公開して事業者を募集した要項において建築計画の項目で記載している。

**問** 契約の段階で記載されていたにも関わらず、出来上がった時点で車椅子でエレベーターや通路を利用できるのか、通路の幅は狭くないのかといった点について市はどのような検証をしているのか。

**答** 通路の幅及びエレベーターについては面積的にはバリアフリー法の規定には達していない。福井県福祉のまちづくり条例の基準を準用している。



立石武志  
(同志会)

### 金ヶ崎周辺等開発事業計画について

**問** 金ヶ崎周辺等デザイン計画にあたりJR貨物の用地取扱い検討の費用が計上されているが、開発骨子が曖昧な今何故これが行われるのか。内容把握、土地収用、出資金などの考えを聞く。

**答** 今回の計上目的は土地の取得ありきではない。今後も県を交え行政支援の方向性等の協議を重ね、結果をデザイン計画でお示しさせていただく。

### 学校における児童生徒の体調・持病管理把握について

**問** 先般市内学校にてチック症状を持つ児童が教師による言葉の被害を受けたとの相談があった。教師間での生徒の持病把握など文科省通達事項実施について敦賀市の状況、取組を尋ねる。

**答** すべての先生方が子どもの特性を適切に理解し、きめ細やかに関わっていきけるよう、改めて研修等を企画するなど研鑽を深めたい。



豊田耕一  
(同志会)

### 返還免除の奨学金について

**問** 本市の高校生から「夢を実現するため進学したいが家庭の事情で難しい」との相談を受け、奨学金を活用するよう助言したが、本市の奨学金の概要と返還免除の規定について確認する。

**答** 短期大学、大学は月額3万5千円、4万円、5万円から選択、入学準備金が30万円で、就労のため本市に継続して5年以上居住した場合に返還は全額免除される。

**問** 本市の子どもたちには希望する学校へ絶対に行かせてあげたい。返還免除の奨学金を活用し大学等でしっかり学ばせてあげたい。間違っても経済的な事情で夢を断たせたくない一心であるが、本市の意気込みはどうか。

**答** 経済的な理由等で就学が困難な学生を奨学金制度により支援することは、本市の定住促進や人材育成にもつながるため、返還免除の奨学金制度の周知に努め、制度の維持や拡充等を研究し、本市の飛躍につなげていきたい。



今川 博  
(市民クラブ)

### 土砂災害復旧工事の進捗等について

**問** 市道瀬河内〜池河内間の土砂崩壊箇所の損傷状況と復旧工事の完了時期を伺う。当該地は全部で3世帯と高齢者ばかりの地区であり市内への主要経路として使用され、地区の方は一刻も早い復旧工事の完了を希望されている。

**答** 被災した擁壁工の延長は約15m、高さは約8m、舗装については70mになり、復旧完了時期については積雪、土質、湧水の状況にもより、年度末を目途に早く開通したいと考えている。

**問** 令和4年11月に県庁にて開催された8月の大雨に関するふりかえり会議での敦賀市の課題と対応を伺う。

**答** 危機管理対策課職員の早期参集他、市の地域防災計画や各種マニュアルを見直し、災害対策本部運営訓練を通じ、職員の習熟度を向上させていきたいと考えている。



大塚佳弘  
(公明党)

敦賀市が目指すべき福祉政策について

**問** 地域共生社会推進全国サミットの成果をどのように整理し、またこの成果をどのように活用するか伺う。

**答** サミットの成果資料は、講演やパネルディスカッション等の議論の内容を記録集として作成する。庁内や関係機関の研修会等に、記録集やダイジェスト版動画を積極的に活用。サミットでの有意義な情報を積極的に発信し、地域共生社会への普及啓発に努める。

**問** 敦賀市の面的整備には核となる拠点が必要であると伺ったが、敦賀市唯一の入所施設でもあるやまびこ園で、現在進めている地域生活支援拠点としての役割について伺う。

**答** 現在、やまびこ園は地域生活支援拠点の登録は行われていない。やまびこ園は入所だけではなく、ほかの機能も併せ持つため、短期入所等の拠点としての役割を担うように、敦賀市社会福祉事業団と協議を行う。



中道恭子  
(公明党)

障害者手帳アプリの導入と障がいのある方の社会参加について

**問** 本市でも障害者手帳アプリ「ミライROID」を導入し、公共施設や公共交通機関などで利用できるようにしてほしい。またその周知について伺う。

**答** 関係施設での「ミライROID」利用が可能となるよう調整していく。コミュニティバス、ぐるっと敦賀周遊バスは利用が可能である。周知については、施設や福祉関係窓口、各障害者団体等への通知、広報つるがやホームページ、行政チャンネル等を利用し行う。

**問** この事業の取組の一つ、世代属性を超えて交流ができる居場所づくり活動を行う団体への関わりや支援について伺う。

**答** 地域の支援団体との連携は重要であり、この事業の周知等を踏まえ、各団体と意見交換を行っている。また2月に研修会の開催も予定している。



川端耕一  
(市政会)

マイナンバーカードについて

**問** 敦賀市では、住民票等のコンビニ交付を実施していないが、実施を考えているのか伺う。

**答** 本市では、コンビニ交付について、これまで費用対効果や利便性向上の観点から検討してきたが、導入費用及び維持コスト、マイナンバーカードの交付率を鑑み、現時点では決定していないが、急速にマイナンバーカードの普及が進んでいる状況もあり、引き続き導入に向けた検討を続けていく。

コミュニティバスについて

**問** コミュニティバスのバス停の間隔(距離)を短くするという見直しを検討出来ないか伺う。

**答** 所要時間・交通の安全性などを考慮し、適切な場所がある場合や住民の利便性が高まる場合には、移設も可能と考えている。地区からの要望があれば前向きに協議をしてまいりたい。



馬淵清和  
(市政会)

部活動の地域移行について

**問** 2023年度以降、休日の部活動は段階的に地域に移行するとの方針を国は示したが、市としての取組は。

**答** 休日の部活動の受入れが可能と回答した8つの団体と話し合い、体制が整った競技から移行し令和5年度から令和7年度の3年間で進めていく。

河川の危険箇所の整備について

**問** 筈の川が氾濫した場合、影響が出る地域と、被害想定額は。

**答** 計画規模となる100年に一度の大雨による洪水浸水想定は、下流部で約1100ヘクタール、区域内の総資産額は、約6700億円である。

**問** 堤防が低い三島堰上流の右岸側の堤防と元教職員寮跡地の左岸側のかさ上げをすべきでは。

**答** 県に確認したところ一部低くなっている箇所は今後実施する。



縄手博和  
(市政会)

姉妹都市親善友好少年交歓研修と  
武田耕雲斎の墓の周辺整備について

## 問

ニシン蔵の近くに建てる展示施設は、現在どういう施設にする予定で、今後どのようなスケジュールで建設を進めていくのか。

## 答

資料の展示施設は、国指定史跡武田耕雲斎等墓のガイダンス施設として整備する計画で、スケジュールは、令和5年度中に着工し、年度末までに整備完了予定である。

災害発生時の高齢者の避難について

## 問

災害発生時に、自力で避難不能な方はどう対応するのか。

## 答

災害時に地域の中で避難支援が受けられるようにするため、避難行動要支援者避難支援制度があり、災害時には、支援者ごとにお願している地域支援者のほか、区長、民生委員児童委員、消防、警察などの避難支援関係者の支援により避難していただく。



前川和治  
(無所属)

次世代につなげる夢と希望に満ちた住みたくなるまち敦賀について

## 問

ふるさと敦賀を離れ、都会に一人出た若者が結婚して子どもが生まれて、どこで子育てしようかなと考えたときに、敦賀に3人で戻ってきて4人目、5人目と家庭を築けるようなまちにする。全ての子どもたちを市民全員で本気で応援するという覚悟と本気度を発信していけば、敦賀市の未来は必ず明るくなる。

そのためには、子育て支援のトップランナーである明石市を超える子育て支援の実行と、その子育て情報が簡単に見られることをセットにして取り組むことが、今、敦賀市がすべきことではないかと思うが見解を問う。

## 答

次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるように子育て施策を進めながら、敦賀は子育てがしやすいと感じていただくことができるよう取り組んでいく。



中野史生  
(市政会)

とうろう流しと大花火大会の歴史と現状、今後の在り方について

## 問

敦賀市民の戦没者の慰霊を目的とした市民のための花火大会が市外や県外の客で埋め尽くされ、市民が憩うことができなくなってしまった転換期をいつと捉え、その原因は何であるか。

## 答

平成11年度に開催したつるがきらめきみなと博21を契機として、JRの小浜線電化、敦賀観光協会の法人化、JR直流化などにより花火大会の拡大が図られたものと考えている。

## 問

中止となった場合の準備している花火の現物はどうなっているのか。また、使われなかった予算の精算はどうしているのか。

## 答

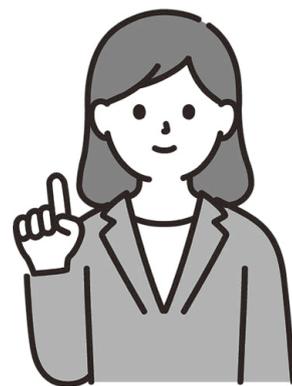
花火の現物は、花火業者の厳重な管理の下、解体、廃棄されている。精算は、敦賀観光協会からの申請に基づき補助金を概算額で支払い、事業完了後に実績報告書を受けて補助額を決定し、差額が出た場合は差額の返金を求める。

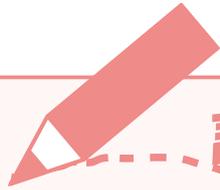
### ★★議会だよりアンケートにご協力お願いします★★

今後の紙面構成の参考にさせていただきますので、以下のQRコードよりご協力をお願いいたします。なお、3ページの「賛否が分かれた議案一覧」については、アンケートでいただいたご意見を踏まえ、今号より掲載しています。



アンケートは  
こちらから





# 議会日誌

令和4年10月7日以降の主な議会活動の紹介です

- 10月**
- 20日 (木) 広報広聴委員会
  - 24日 (月) 福井県市町議会議員合同研修会
  - 25日 (火) 文教厚生常任委員会
  - 27日 (木) 第13回全国原子力発電所立地議会サミット (～28日)

- 11月**
- 1日 (火) 議会運営委員会
  - 7日 (月) 福井県市議会議長会議員研修会 (オンライン)、広報広聴委員会
  - 9日 (水) 議員説明会、議員研修会、文教厚生常任委員会
  - 11日 (金) 議会報告会
  - 14日 (月) 議会運営委員会行政視察 (～15日)
  - 15日 (火) 出前議会報告会
  - 18日 (金) 出前議会報告会
  - 21日 (月) 議会運営委員会、代表者会議
  - 24日 (木) 金ヶ崎周辺整備に係る先進地視察
  - 29日 (火) 全員協議会、本会議 (開会)
  - 30日 (水) 予算決算常任委員会全体会・分科会

- 12月**
- 7日 (月) 本会議 (一般質問)
  - 8日 (火) 本会議 (一般質問)
  - 9日 (水) 本会議 (一般質問)
  - 12日 (月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
  - 13日 (火) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
  - 14日 (水) 廃棄物対策特別委員会
  - 15日 (木) 予算決算常任委員会全体会、広報広聴委員会
  - 20日 (火) 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (閉会)、予算決算常任委員会全体会

- 1月**
- 13日 (金) 議会運営委員会
  - 27日 (金) 広報広聴委員会
  - 30日 (月) 議会運営委員会

- 2月**
- 9日 (木) 議員説明会
  - 15日 (水) 代表者会議、議会運営委員会



## 敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去 (平成30年から) の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

[https://www.city.tsuruga.lg.jp/about\\_city/parliament/index.html](https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html)

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157  
Eメール: gkai@ton21.ne.jp

住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号

発行所: 敦賀市議会

委員: 山本 貴美子、豊田 耕一、中川 恭一、川端 耕一、縄手 博和、今大地 晴恵、林本 恵子、副委員長 武志、広報広聴委員長 山本 恵子

## 編集委員



## 3月定例会の日程 (予定)

2 February ~ 3 March 2023

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
2/19	20	21	22 本会議 (議案説明・質疑)	23	24 予算決算 常任委員会	25
26	27	28 予算決算 常任委員会	3/1 予算決算 分科会	2	3	4
5	6	7	8 本会議 (採決・一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 常任委員会	14 特別委員会	15 特別委員会	16 予算決算 常任委員会	17	18
19	20	21	22 本会議 (報告・採決)	23	24	25